青年会議所について

JC三信条

活動の基本を

「個人の　**修練** (Training)」
「社会への　**奉仕** (Service)」
「世界との　**友情** (Friendship)」におき
「明るい豊かな社会を築き上げる」
ことを共通の理念としています。
また、会員相互の啓発と交流をはかり、
公共心を養いながら、
地域との協働により
社会の発展に貢献することを
目的としています。

青年会議所の4つの機会について

1.「個人の機会」(Leadership development)
指導力開発・人間力開発の機会です。様々な研修プログラムや活動の中で自己啓発の機会が与えられます。

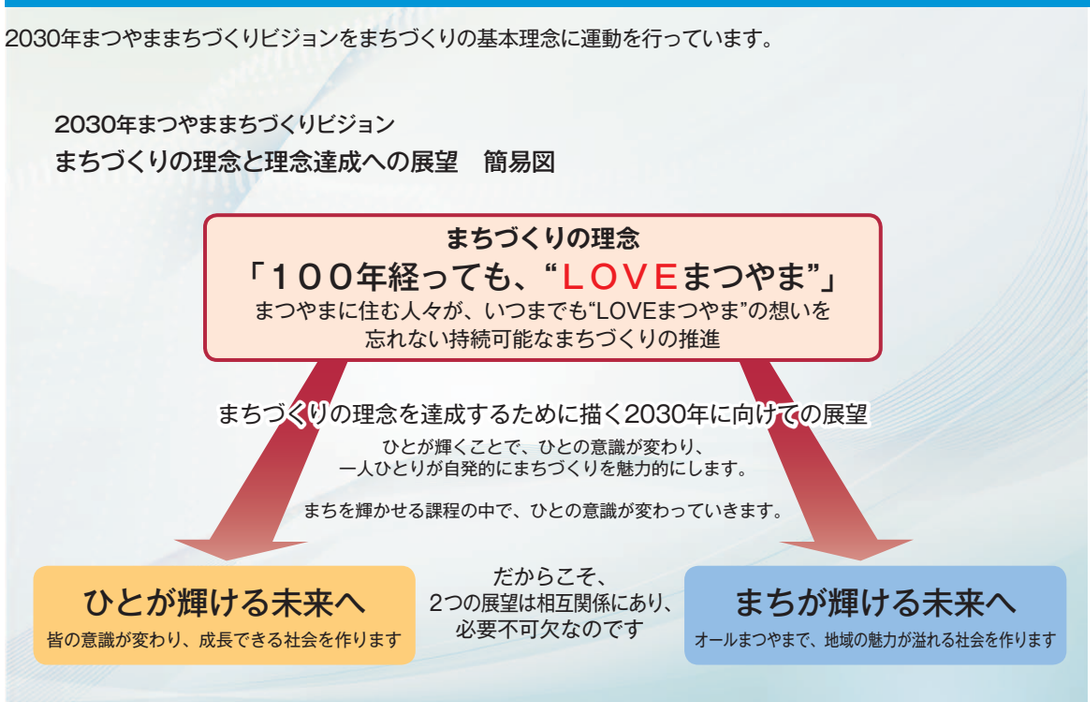
2.「地域の機会」(Community development)
社会開発・まちづくり機会です。地域社会との関わりができ、社会奉仕活動をする機会が与えられます。

3.「国際の機会」(International)
国際交流・国際貢献の機会です。JCI（国際青年会議所）のメンバーとして、世界会議やASPACなど、世界と関わる機会が与えられます。

4.「ビジネスの機会」(Business)
経済活動・経営開発の機会です。日本全国、世界各国の志あるメンバーと出会うことができ、新しいビジネスの機会が与えられます。

JCI松山について

2030年まつやままちづくりビジョンをまちづくりの基本理念に運動を行っています。



JCI松山の事業と活動

松山春まつり・お城まつり

毎年４月に開催される松山春まつり（お城まつり）は、大名武者行列が大街道から千舟町を練り歩き、ステージイベントなどで地域の皆さまから期待されている事業です。

まつやま市民シンポジウム

市民と行政がともにまちづくりについて考え、行動につながるきっかけづくりの場として「まつやま市民シンポジウム」を開催しています。

青少年育成事業

「わんぱく相撲まつやま場所」を、「わんぱく相撲全国大会」の地方予選として開催しています。相撲を通じて、様々な事を学ぶ場として心豊かな青少年の育成を推進しています。

例会事業

毎月一回、さまざまなテーマが設定された例会を開催しています。メンバーの学びの場や、交流の場として有意義な時間となっています。

委員会

メンバーは委員会に所属し、月に一度会議を行います。委員会の任されている事業などの実施に向けて、アイデアを出しあいながら、事業成功に向けて活動しています。

なでしこJC

男性の多いＪＣですが、女性メンバーもいます。女性ならではの目線でＪＣ活動を行い、2か月に一度、女性メンバーが集まり意見交換や交流を深めています。

未来を照らすホットライン事業

物資の支援を必要とする家庭や施設に、支援活動を行います。貧困に悩む家庭や子どもたちの現状を再認識し、継続的に地域に根差した活動を行うことで、共助の輪を広げることを目的としています。

地域のたから活性化事業

まつやまには多く観光資源、そして外から見れば実は素晴らしいまちのたからがあるにも関わらず、知られていない資源も数多くあります。それらの地域のたからを活用した事業を展開しています。

これまで行ってきた事業

道後地区活性化事業

多くの地域の皆さまに、道後地域の魅力を発信する事業です。道後に足を運んでいただき、道後の魅力に触れていただいています。

愛媛マラソン支援事業

愛媛の郷土料理である「いもたき」をランナーのみならず来場者に振舞います。ランナーの皆さまの心に残る、特別な愛媛マラソンを目指しています。

献血推進事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、血液不足が大きな課題でした。本当に血液を必要としている方々に適切に血液が行き届くよう、636名の方々に献血していただきました。

俳句甲子園

俳句を通じ地域間・世代間の交流と若者の文化活動の活性化に必ず寄与するものと考え、1998年に第一回の俳句甲子園を開催しました。現在は「NPO法人俳句甲子園実行委員会」に事業を移管し高校生にとって国語教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育んでいます。

新型コロナウイルス感染症影響下での活動

松山青年会議所では新型コロナウイルス感染症の影響下でも、まつやまのために自分たちに出来ることがないか考え、課題解決に向けて運動しています。その時の状況にあった運動をすぐに実践できるのも青年会議所の特徴です。

メンバーの声

①JCI松山 へ入会した理由
②JC活動を通して感じたこと・考えたこと
③今後のJC活動への抱負
④JCに求めるもの
⑤JC活動をして仕事に活かせたこと

現役メンバーの声

橋本 若菜
入会 2019.8
協和運送有限会社

①JC入会時29歳だった私は、30歳を目前に人生に迷っていた気がします（笑）30代、なにか変わりたい！と思ったのが入会のきっかけです。
②JC活動を通して感じたことは、挑戦することの大切さです。人生は選択の連続ですが、JC活動をしていると更にその機会は増えます。なにかに挑戦する時、出来ない理由を考えることの方が簡単ですが、理由を並べているときは迷っているときだと気付きました。勇気を出して挑戦した先には多くの出会いや学びがあることもJCが教えてくれました。今後も迷ったときには勇気がいる方を選択し、どんなことにも挑戦していきたいです。
③2019年に入会し、5年目に突入しました。今までは先輩方に着いていくことに必死で、与えられた役をこなしていくことに精一杯でした。5年目となり、自分が40歳の卒業を迎える際にどのような人間になっていたいかと考えるようになりました。今後のJC活動は自分の苦手なところにもしっかり向き合い、自信を持って行動・発言できる人間に成長したいです。
④JCに求めるものは変わらず、厳しくも愛のあるJCです。厳しい修練の中で仲間とともに成長しながら地域のために活動できることに喜びを感じています。時代の変遷を感じていますが、これからも修練・奉仕・友情の三信条のもと仲間と語り合い、実りある時間を過ごしていきたいです。
⑤JC活動を通して仕事に対する考え方やものの見方が変わりました。仕事での役職や職務内容、立場はなかなか変わりませんが、JCは単年度制なので年度ごとに役職や立場が変わります。JCで組織を学び、その年度ごとの職務を経験することで、社内でもさまざまな角度や立場から物事を見ることができるようになったと感じています。

宮内 崇旭
入会 2019.8
愛媛飼料産業株式会社

①異業種の方々とのJC活動を通じて、様々な考えや価値観を知り、自分の考えの幅を広げ、社業に少しでも活かすことができればと思い入会しました。
②一企業、一個人では、地域貢献をするうえで、活動に限界があります。しかし、年齢、業種の枠を超えて、熱い想い、熱い志を持つJCメンバーが集い、意見を出し合い、協力して事業を構築し、展開することで、幅広い分野で地域貢献することができると感じました。
③しっかりと地域が抱えている問題を聞きとり、JCメンバーと一緒に解決できる事業を考え、地域の方々に必要とされ、あってよかったと思える事業を構築していきたいと考えます。
④JCの魅力の一つは、人と人との繋がりだと考えます。仕事でもJC活動でも、一人で考えていて、行き詰まってしまうことが多々あるかと思います。そのような時、JCの仲間に相談すれば、一緒に考え、親身になってアドバイスを与えてくれます。一緒に一生懸命、真剣にJC活動に取り組むことで、年齢、業種を超え互いに切磋琢磨しながら、かけがいのない一生物の友人・先輩ができるのが魅力だと思います。
⑤JCメンバーと事業やその準備について話し合う中で、様々な角度からの意見や考え方に触れることで、考え方の幅が広がり、仕事においても、柔軟な対応が可能になったと思います。

田中 浩章
入会 2018.4
株式会社グランプリ

①私の知人が松山青年会議所に入会していたので、青年会議所の存在自体は知っていましたが、どのような活動を行っているかは知りませんでした。2018年に当時の拡大委員会委員長とお話しさせていただく機会があり活動内容の詳細を知ることで、地域のために少しでも役立てるならと思い入会いたしました。
②入会当初は、青年会議所活動に参加するという意識は低く、タイミングが合えば参加しようという程度でしたが、他のメンバーが地域のために事業を構築している姿を見て、地域の活性化のために頑張ろうという意識が芽生え、少しずつ参加するようになりました。
③メンバーの青年会議所活動に対する意識には温度差があります。青年会議所の諸先輩方を見て、私自身の意識が高まったように、一人でも多くのメンバーが率先して地域の魅力を発信していけるように意識を高められるようにしたいです。
④地域の子どもや若者と接する事業を増やすことができれば良いのかなと思います。例えば、近頃の子どもはスポーツをしない子どもが増えてきたと実感しています。私たちが小さい頃は、野球やサッカーなどの試合が多く、他の地域の方々と接する機会が多かったと思います。今は、小学校のスポーツ少年団に所属している子どもが少ないため試合自体が少なくなったそうです。地元のスポーツ団体と協定を結んでいる松山青年会議所だからこそできる事業を構築して欲しいなと思っています。
⑤青年会議所活動を通じて、人に仕事や負担を割り当てる力が培うことができたと思います。そうすることで、人の成長に繋がり会社としてのレベルアップに繋がりました。また、県内外の様々なメンバーと知り合うことで、仕事では出会うことがなかった方々と繋がりを持てました。

メンバー一同入会をお待ちしています

①JCI松山 へ入会した理由
②JC活動を通して感じたこと・考えたこと
③今後のJC活動への抱負
④JCに求めるもの
⑤JC活動をして仕事に活かせたこと

新入会員メンバーの声

横山 陽名
入会 2022.9
株式会社日本皮膚美研

①JCI松山の事業に参加したことが決め手となりました。夢を諦めない姿勢、仲間と協力することで自分の弱い部分をカバーしてもらえたり自分の長所が見つかったりと多くを学ぶことができました。これからのJC活動も、とてもワクワクしています！
②JCI松山の事業の一環として松山を盛り上げる為にチームに分かれて事業計画をしています。初めての試みですがとても充実した時間で今後のJC活動に活かしていければと考えております。
③様々な方と仲良くなりたいです。多くの方から色んな意見を吸収して学びの機会になれば嬉しいです。そしてこれから18年間JC活動を続けていく上での糧になればと思っております。
④女性の割合が少ないため女性会員としてこれからJCの素晴らしさを伝えられるようになりたいです！そして新しい角度で「まつやま」の活性化に繋がる意見を取り入れられるようになればと思います。
⑤まだ入会して間もないためJC活動を本格的にしたことはありません。しかし、会社経営について相談できる先輩方がたくさんいらっしゃるので、非常に心強いです！

尾山陽一郎
入会 2022.4
株式会社アートアイデア

①元々、他業種の方と交流できる団体に入会したいと思っておりました。そんな中、昔JCに入会しており、現シニア会員である父にJCへの入会を薦められたので、入会を決めました。
②入会をしてまだ1年も経っておりませんが、メンバーの皆さまが一生懸命、活動をする姿を見てきました。社業を行いながらJCでもしっかりと活動をするためには熱意はもちろんですが、何事も効率良く行うことが大事だと感じました。
③先述のように私はメンバーの皆さまの姿を見て、見習いたいと思ったことがたくさんあります。それと同じように誰かが私の姿を見たときに、私のことを見習いたいと思ってもらえるような活動をしていきたいと思います。
④地域の皆さまに誇りに思ってもらえるような団体であってほしいと思います。そのためにはメンバー一人ひとりが熱意を持って活動する必要があると思うので、私もその一員になれるように頑張っていきたいです。
⑤普段の仕事ではあまり経験しないことをJC活動の中では行うこともあり、そういったことを経験させてもらえることで、仕事で何かを考える・作るときには様々な角度から発想を膨らませることができております。

JCI松山のクラブ紹介

じゃがいもクラブ

毎月一回例会を開催し、シニアと現役の交流の場となっています。紳士的なふるまいやマナーを身に着け、自身の成長にもつながります。

松山JCライダーズクラブ

日本ＪＣライダーズクラブに所属している、オートバイをこよなく愛するメンバーが集まり交流を深めています。

青松会

2019年に発会した新しいクラブです。定期的に茶道の稽古や茶会を開催します。おもてなしの精神や侘び寂びを感じられる日本の伝統文化を学んでいます。

釣りクラブ

年に８回程度、瀬戸内海を中心に船に乗って釣りに行きます。瀬戸内海の豊かさを感じながら交流を深めています。

サッカー部

県内外のＪＣと試合をしたり、フットサルをしたりしています。楽しみながらＪＣ内の大会での上位進出を目指しています。

自転車クラブ

定期的な愛車自慢の懇親会や、グルメライドを予定しています。自転車好きであれば誰でも参加できます。

入会要項

入会の流れ

入会案内 ▶ 入会申込 ▶ 入会面接 ▶ 入　会

入会資格

1．青年会議所の目的と意義に賛同し、自発的な意見と情熱を持っていること
2．原則として、満20歳以上40歳未満の入会した年を含め2年以上活躍できる品格ある青年であること
3．松山市およびその周辺に住所又は勤務先を有すること
4．健全な社会人としての教養と良識のある方で最低月1回開かれる例会と委員会に出席できること
5．国籍は問いません
6．松山青年会議所会員2名以上の推薦があること

入会金及び会費

入 会 金 …… ￥30,000
年 会 費 …… ￥132,000
委員会費 …… ￥10,000～￥15,000（月額）
※各委員会により異なります。

事務局

〒790-0067 松山市大手町2丁目5-7 松山商工会館4F
TEL：089-941-0194 FAX：089-943-0149
E-mail : jimukyoku@matsuyama-jc.or.jp
https : //www.matsuyama-jc.or.jp

JCI松山 公式ホームページ

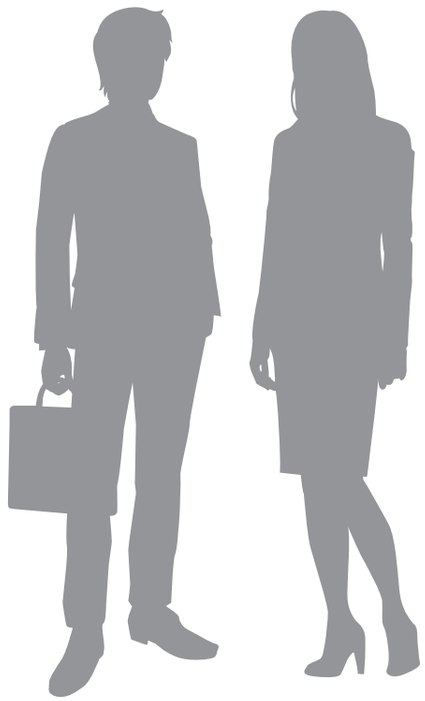
松山青年会議所 検索

広報誌「わかつばき」

JCI松山 公式アカウント

GUIDE BOOK 2023

公益社団法人松山青年会議所
入会案内



１００年経っても、”LOVEまつやま”
Junior Chamber International Matsuyama
公益社団法人 松山青年会議所